

# 令和4年度 林業アカデミーふくしま 短期研修実施計画及び研修内容（案）

資料2-2

令和3年11月11日現在

備考	区分	R4 (案)	講師	研修講座	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先			実施時期	研修 日数	定員	開催場所	グループワー ク等想定班分 け
								市町村 職員	林業 事業者等	県職員					
	市町村実務	継続	県職員	1 森林・林業の基礎	地域の森林・林業の中心的役割を担う市町村林務担当職員等を対象に、森林・林業に関する基礎的な知識を習得させ、担当業務を円滑に遂行できる職員を育成する。	森林・林業の基礎知識、優良林業事業者・木材市場等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割等	市町村林務担当職員等 (初任者レベル)	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター ほか	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員	2 森林計画制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林計画制度、市町村森林整備計画の実行管理（森林経営計画、林地台帳、伐採届、森林土地所有者届）、森林境界明確化等	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○	△	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員	3 森林整備事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林整備事業の概要、ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業、森林経営管理制度の概要、森林GISの活用、森林調査の基本、周囲測量の基本、森林整備発注業務の実務	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○	△	△	令和 年 月 日～ 日	3日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	一部変更	県職員 外部講師	4 森林経営管理制度の実務 (市町村対象)	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、市町村森林経営管理事業の実施、経営管理実施権を設定する民間事業者の選定、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度の概要、森林環境税及び森林譲与税、森林経営管理制度に係る事務、県内市町村の取組事例	市町村林務担当職員 (実務担当者)	○	△	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	事業者実務	一部変更	県職員 外部講師	5 森林経営管理制度の実務 (林業事業者対象)	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、市町村森林経営管理事業の実施、経営管理実施権を設定する民間事業者の選定、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度の概要、森林環境税及び森林譲与税、森林経営管理制度に係る事務、県内市町村の取組事例	林業従事者等	△	○	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員	6 森林土木事業の実務	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる職員を育成する。	森林土木事業の概要（治山・路網） 林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習、積算システム概要	・市町村林務担当職員 (実務担当者)	○	△	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター	5人×4班
	市町村実務	継続	県職員 外部講師	7 森林土木事業の測量・設計	森林土木事業にかかる測量・設計の技術力向上を図るため、現場実習等を通じて測量機器の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務ができる職員を育成する。	測量・作図実習 標準構造物の設計	・市町村林務担当職員等 (実務担当者)	○	△	△	令和 年 月 日～ 日	2日	12名	林業研究センター	4人×3班
技術者養成	市町村・事業者共通	継続	外部講師	8 提案型集約化施業実践 ※森林施業プランナー協会認定 1次研修に該当（予定）	森林所有者に対する施業提案書の作成や提示、森林施業の集約化ができる、森林経営計画作成の中核を担う技術者を育成する。	提案型集約化施業の意義・進め方、目標林型と育林技術、集約化の実際、森林施業プラン作成、森林経営計画作成等	森林施業プランナーを目指す者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	4日	20名	林業研究センター 実習フィールド	5人×4班
技術者養成	市町村・事業者共通	継続	外部講師	9 路網整備と作業システム（基礎）	路網整備と作業システムに関する基礎的な知識及び技術の習得により、地域における効率的な施業方法を計画・実行できる技術者を育成する。	路網整備の必要性、路網設計・作設方法・施工管理、路網と作業システム、ICT技術等	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	2日	20名	林業研究センター 実習フィールド等	5人×4班
指導者養成	事業者技術力向上	継続	外部講師	10 路網整備と作業システム（実践） ※緑の雇用OJT指導員資格取得研修に該当	現地に適合した路網整備と作業システムの構築に必要な知識及び技術を習得し、素材生産性の向上に向けた指導ができる技術者を育成する。	森林作業道作設の基礎、路網計画作成、森林作業道作設実習等	森林作業道開設に関する指導者を目指す者	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	4日	12名	実習フィールド	4人×3班
指導者養成	事業者技術力向上	14に統合	外部講師	11 <del>チェーンソー伐木造材技術</del> <del>（安全指導）</del>	<del>安全な伐木造材作業を推進するため、伐木等作業に関する安全対策に必要な知識及び技術のさらなる向上を図り、リスキアセスメントを実践する能力を養成し、安全な伐木造材等を指導できる技術者を育成する。</del>	<del>伐木等作業の法整備の背景・経緯、伐木等作業の特徴と作業の安全、伐木等作業を通じた安全指導の方法等</del>	<del>伐木等の業務に係る特別教育修了者で現場経験4年以上の安全指導者を目指す者</del>	○	○	⊖	<del>令和4年1月1日～1日</del>	<del>3日</del>	<del>10名</del>	<del>実習フィールド</del>	
ICT関連	市町村・事業者共通	継続	外部講師	12 森林・林業でのドローン活用 (基礎)	ドローン等技術の活用により、森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化及び効率化を図るため、ドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術を習得する。	森林・林業でのドローン活用事例、航空法等の関係法令、ドローンの操縦方法、ドローンの基礎操縦・飛行撮影、オルソ画像作成	市町村林務担当職員及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	12名	林業研究センター 実習フィールド	4人×3班

IC T 関 連	市町村・ 事業体共 通	R 4 追加	外部講師	13	研修講座（追加案）	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先			実施時期	研修 日数	定員	開催場所	グルーワー ク想定班分け
					市町村 職員	林業 事業体等	県職員									
					最先端の林業技術	森林施業の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術を習得させる。	大型ドローンによる苗木運搬、3Dレーザーキャナを活用した森林調査、路網設計支援ソフトを使用した線形計画	市町村林務担当職員及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	4日	12名	林業研究センター 実習フィールド	4人×3班
労働 安全	事業体技 術力向上	R 4 追加	外部講師	14	安全な伐倒作業技術	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全かつ正確な伐倒技術を有する技術者を育成する。	伐倒練習機による安全かつ正確な伐倒技術を身につけるための反復実習	林業従事者等 ※伐木等の業務に係る特別教育修了者		○		令和 年 月 日～ 日	7日	3名	林業研究センター	2日/1名以上
労働 安全	事業体技 術力向上	R 4 追加	外部講師	15	高性能林業機械の操作	高性能林業機械作業を推進するため、ハーベスタシミュレーター機器を使用し、高性能林業機械の特性や安全な操作方法に関する基礎的な知識及び技術を習得させ、効果的かつ安全に作業が行える技術者を育成する。	高性能林業機械の特性、安全な作業方法、搭載型VRシミュレーターを使用した模擬操作	林業従事者等		○		令和 年 月 日～ 日	2日	5名	林業研究センター	シミレーター 1台
技術 者養 成	市町村・ 事業体共 通	R 5 以降 検討		16	森林保護管理	松くい虫やナラ枯れ被害等のメカニズムや被害対策等の知識及び技術を習得させ、的確で効果的な防除施策を実施できる技術者を育成する。	松くい虫・ナラ枯れ被害等の森林病虫害対策、鳥獣被害対策	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	12名	林業研究センター 実習フィールド	4人×3班
技術 者養 成	市町村・ 事業体共 通	R 5 以降 検討		17	森林総合監理（前期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を育成する。	森づくりの理念と森林施業、森林・林業の構想、コミュニケーションとプレゼンテーション能力、森林経営計画と森林経営管理実施権配分計画	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	20名	林業研究センター	5人×4班
技術 者養 成	市町村・ 事業体共 通	R 5 以降 検討		18	森林総合監理（後期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を育成する。	上記研修の演習	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者等	○	○	△	令和 年 月 日～ 日	3日	20名	林業研究センター	5人×4班
特殊 機械	事業体技 術力向上	R 5 以降 検討		19	架線集材	安全な林業架設作業を推進するため、安全な架設、撤去の作業手順、集材機の運転操作及び架線設計に関する知識及び技術を習得させ、安全に架線集材が実施できる技術者を育成する。	架線集材に関する知識、架設・撤去作業、ワイヤーロープの取扱、架線集材の設計	伐木・集材の現場経験○年以上の林業従事者		○		令和 年 月 日～ 日	14日	10名	林業研究センター 実習フィールド	5人×2班

福島県